

夏に多い感染症に気をつけましょう

夏には、夏に多く見られる感染症があります。特にプールに入ることによって感染する場合がありますので注意しましょう。また、早めの休養・通院をおすすめします。

♪フールあそび、水あそびが始まります♪

もうすぐ、じっとりとした、いや～な梅雨の時期がやってきます……。子どもたちが植えた、野菜の苗たちにとっては、たっぷりお水をもらって嬉しい季節ですが、お外の出られない子どもたちにとってはちょっと残念な季節です。

朝晩、少し肌寒い日もありますが、日中は気温が高くなって汗ばむようになりました。暑さに慣れず、体調をくずしてしまう事も心配されます。朝食をしっかり食べて、たくさん睡眠を取って、元気に過ごしていきましょう。

今年は、6月11日(月)にフール開きを行う予定です。暑い夏を元気いっぱい、楽しみましょう!!



フールあそび、水あそびの前に チェックしましょう!!

- 熱はありませんか？
- 皮膚に湿疹などは出ていませんか？
- 下痢や嘔吐、腹痛の症状はありませんか？
- 咳や鼻水は出ていませんか？
- つめは切ってありますか？(思わぬケガをすることがあります)
- 朝ごはんは食べましたか？
- 目の充血や目やには出ていませんか？
- 耳あかは取ってありますか？

- ※ 髪の毛は、暑い夏の間だけでも短くしてプールに入りやすくしては？
- ※ みんなで入るプールです。入浴をして、清潔に心がけましょう。
- ※ たくさん体を動かすと、疲れが出てくるので十分な睡眠をとり、朝食もしっかり摂るようにしましょう。
- ※ プール道具を使用した日には、持ち帰って洗濯をしてきましょう。
- ※ 体調に変化がみられる時には、登園した際に必ず伝えてください。(体調がおもわしくない時には、プールあそびはお休みです)

- ◎ 水着、タオル、ビーチバックには、必ず名前を書きましょう。
- ◎ プールカードの記入を忘れず、必ず毎日持参して下さい。



フール熱(咽頭結膜熱)

症状
急な発熱、のどの痛み、頭痛、目やに充血、首のリンパが腫れる。

注意点
学校感染症に指定されているので、感染したら、登園を停止し、症状がなくなって2日を経過するまで自宅で過ごしましょう。



ヘルパンギーナ

症状
突然の高熱(38~40℃)、のどの痛み、乳幼児ではよだれが増える。口の中に水疱ができ、食欲がなくなる。

注意点
熱が下がり痛みがなく、飲食がしっかりできるまでは、数日休ませます。脱水症状にならないように水分補給を十分に行いましょう。



流行性結膜炎(はやり目)

症状
充血や目のかゆみ、痛み、目やにまぶたの腫れが見られます。感染力が非常に強いのが特徴です。

注意点
学校感染症に指定されています。家庭間での感染予防のために、タオルなどの共有はさけましょう



手足口病

症状
手足、口の中に小さい発疹ができます。熱が出ることもあります。

注意点
ウィルスの種類により脳炎などをともない、重症化することもある。ヘルパンギーナ同様、水分補給に十分注意しましょう。



その他にも

- * **伝染性軟属腫(水いぼ)**・・・水っぽい光沢のある「いぼ」
- * **伝染性膿痂疹(とびひ)**・・・水疱ができ、膿をもってかゆくなる。水疱が破れると、あっという間に広がる。

※ 一関地区でまだ、感染が広がっていない病気でも、関東地域での感染症が広がっている場合には、次第に広がることも考えられるので、注意していきましょう。

おねがい

- ♪ 髪の毛を結ぶ場合は、飾り付きのものやヘアピンは危険です。ゴムのみにしましょう。
- ♪ サンドルでの登園は危険です! かかと部分にベルトがついているもの、足に合ったズックにしましょう。(靴下も着替え袋に入れておきましょう)
- ♪ 朝夕は少し肌寒いかな、でも日中は汗ばむ…。そんな季節ですね。調節しやすい服装で登園、半袖・短パンの準備をお願いします。

熱中症にも気をつけましょう!!



参考資料：少年写真新聞社